

海難防止を祈願 虻田救難所出初式

1月6日日本水難救済会虻田救難所（高清水幸夫所長）の平成26年出初式が、あぶたふれ合いセンターで開かれ、今年1年の安全と豊漁を、参加した所員一同が祈願しました。

式では、人員報告、服装点検の後、真屋敏春監督から「虻田救難所の活動に励み、救難事業とともに漁業においてもよい年になるように願います」と訓示がありました。

来賓の挨拶を受け、高清水幸夫所長が「本年は、海難事

故ゼロをめざし、平穏な1年になりますように訓練に励んでいきます」と答辞を述べ、出初式を終了しました。



出初式で答辞を述べる高清水所長

■ 年演芸
新 交流大会（洞爺湖町老人クラブ連合会主催）が、1月16日洞爺湖文化センターで開かれ、カラオ



コミカルな踊りも披露された新年演芸交流大会

ケや寸劇などで楽しみました。

参加したのは、加盟15団体約160人。楽木同連合会会長の挨拶、真屋町長ら3人の来賓の挨拶の後、交流大会がスタートしました。

ステージでは、自慢ののどを披露する人やコーラス、コント、コミックダンスなど芸達者な皆さんの出し物が次々に披露され、会場を大いに沸かせました。

笑って新年祝う 老人クラブ新年演芸交流大会

かつて正月の娯楽の代表としてあった「下の句かるた」を楽しむ、おとなの



はりつめた空気が漂う下の句かるた大会

かるた交流大会（洞爺湖スポーツクラブ主催）が、1月19日、赤川集会所で6チームが参加して、開かれました。

下の句かるたは、北海道独特の遊び方で、百人一首の下の句を読んで下の句を取りあうものです。大会は、1チーム3人で、3チームずつ2ブロックに分かれて予選を実施。

決勝は、各ブロックの同じ順位同士が戦い、勝敗を決めました。成績は次のとおり。

1位 一雄チーム 2位 いきいきクラブ 3位 町議会

懐かしい下の句かるたで熱戦 おとなのかるた交流大会

文化財防火デー 入江・高砂貝塚館で防火訓練

文 化財防火デーの1月26日、入江・高砂貝塚館で、防火訓練が行われました。

館内のストープから出火したとの想定で、警報のブザーとともに避難を開始し、貴重な土器や石器などの展示品を運びだしました。屋外では、西胆振消防組合伊達消防署洞爺湖支署の消防車1台が駆けつけ放水を行い、引き続き同駐車場で参加者が消火器での消火活動を体験しました。

訓練終了後、館内で、黒曜石のナイフを使って、魚を切り身や開きにする体験を行い、三谷学芸員から、縄文人が好きな食べ物について講話がありました。最後に温かい縄文鍋がふるまわれ、縄文時代の食について理解を深めました。



放水体験をする子供たち

まちのわだい

